

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009仙第61号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年5月21日 09時30分ごろ	
発生場所	青森県平内町清水川漁港（口広地区）北方沖 清水川港北防波堤灯台から真方位098° 3,800m付近 （概位 北緯40° 55.4′ 東経141° 04.3′）	
事故等調査の経過	平成21年5月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 漁船 第三三平丸^{さんぺい}、4.91トン AM3-17282（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B 漁船 平安丸^{へいあん}、4トン AM3-31896（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、二級小型船舶操縦士</p> <p>B 船長B、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 船首部に擦過傷</p> <p>B 操舵室大破</p>	
事故等の経過	<p>A船は、GPSプロッターを装備しているが、レーダーを装備しない漁船で、船長Aほか1人が乗り組み、清水川漁港北方沖のほたて養殖施設に向かった。船長Aは、濃霧で視界が制限された状況下、GPSプロッターを見ながら手動操舵に当たっていたが、養殖施設の間近に接近したことに気付かず、平成21年5月21日09時30分ごろ、原速力のまま同施設に係留中のB船と衝突した。</p> <p>B船は、船長Bほか1人が乗り組み、ほたて養殖施設に係留してほたて養殖の作業中、間近に接近したA船を認めたがどうすることもできず、衝突した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 霧、風向 南南東、風力 2、視程 約30m</p> <p>海象：うねり なし、風浪 なし</p> <p>事故発生当時、濃霧注意報が発表されていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>船長Aは、濃霧により視程が約30mに狭められた状況で、GPSプロッターを見ながら養殖施設に接近したものと考えられる。</p> <p>船長Aは、養殖施設に接近した際、減速の操作が遅れ、原速力で航行したものと考えられる。</p> <p>船長Aは、養殖施設に接近したことに気付かず、同施設に係留していたB船に衝突したものと考え</p>

	られる。
原因	本事故は、清水川漁港（口広地区）北方沖において、A船が航行中、B船が養殖施設に係留中、A船が濃霧により視界が狭められた状況で養殖施設に接近する際、養殖施設に接近したことに気付かなかったため、原速力で航行してB船に衝突したことにより発生したものと考えられる。